



土橋の子

平成26年度4月号 第1214号

日置市立土橋小学校

平成26年4月28日発行

あし はじめて しょうず 葎 始 生

山野が植物の緑一色に輝く時季を迎えました。水辺でも、葎（葦、蘆とも書きます）の若葉が芽吹く頃です。20日（日）から立夏（5月5日）までは、二十四節気でいう「穀雨」。雨が百穀を潤すことから名付けられたもので、雨で潤った田畑は種まきの好期です。この時季、降雨量が少しずつ多くなり始めます。



さて、この春休みに当校を訪れたある小学校の校長先生が、後日お会いした際、「土橋小はきれいだね。校舎内もだけど、玄関前の校庭にもほうきの目が通っていて、気持ちよかった。」と言われました。ほうきの目とは、子ども達が朝のボランティア活動で通してくれたほうき跡のことです。なるほど、きちんと掃かれたほうき目は、まるで枯山水の砂紋のようにきれいであり、見る者の心を潤してくれます。

そう言えば、私が小・中学生の頃は校庭掃除の当番になると、広い校庭に並ばされて、ほうきの目を付けさせられたものでした。「ごみが落ちているわけでもないのに、どうして掃かないとならないのだろう？無駄なことをするものだな。」と、子ども心に思ったものです。しかし、「無駄なこと」と思っていたその目は、実は人の心を潤していたのだと、今更ながらに懐古しています。

考えてみますと、世の中には無駄と思えることの中にも、風情というのでしょうか、潤いというのでしょうか、そういうものがあります。例えば、風鈴があるからといって、気温が下がるわけではありませんし、年賀状がなくてもお正月は過ごせます。しかし、これらのものがなくなったら、風情や潤いといったものが失せそうな気がします。

学校には花が植えてあります。教室前の手洗い場にも花が一輪挿ししてあります。立ち止まって、「おはようございます。」と帽子を脱いでお辞儀をする子ども達があります。毎朝、ボランティアで掃除をしてくれる子ども達があります。「先生方、さようなら。」と職員室や校長室、保健室の職員にもわざわざ挨拶をしに来てから帰る子ども達があります。もちろん、学校に花がなくても、あるいは掃除をせずに汚い環境の中でも授業はできます。「おはよう」と言わなくても一日は始まります。これらも見方によっては、無駄かも知れません。しかし、確かに心を潤し、穏やかにしてくれるものであり、子ども達の情操を豊かに育ててくれていると信じています。

「人間生活にはムダなものがあるが、そのムダなもののために情緒が生まれ、うるおいができ、人の心がなごむようなものがある。」（遠藤周作「新行儀読本」河出文庫）

本年度も「無駄」なものを大事にしたいと思います。

【平成26年度小学校・幼稚園の職員】

職名等	氏名	職名等	氏名
校長・園長		養護教諭	
教頭・副園長		事務主幹	
1年担任		学校主事	
2年担任		司書補	
3・4年担任		幼稚園教諭	
5年担任		〃	
6年担任		〃	



学年等	園児・児童数		
	男子	女子	計
年中	7	1	8
年長	8	3	11
計	15	4	19
1年	2	4	6
2年	2	4	6
3年	4	1	5
4年	4	4	8
5年	8	3	11
6年	9	3	12
計	29	19	48

🎉5月の行事予定🎉

- 1日（木）貯金日
- 2日（金）一日遠足（平川動物園）
- 8日（木）いちご狩り①～③（予定）、ALT
- 9日（金）巡回図書
- 13日（火）腎臓検診、蟻虫卵検査（～14日）
- 14日（水）交通安全教室③、耳鼻科検診、第2回評議員会
- 15日（木）クラブ活動
- 20日（火）内科検診
- 22日（木）体力・運動能力調査③④
- 23日（金）歯科検診、巡回図書
- 26日（月）スケッチ旬間（～30日）
- 29日（木）クラブ活動
- 30日（金）プール掃除⑤⑥（3～6年）

おひさま運動展開中！

日置市では、風格ある教育を推進するために「おひさま運動」を展開しています。市民総ぐるみで、おひさま運動の風を吹かせましょう。

お おはようの声ひびく 思いやり
育てるやさしいまち

ひ ひろげよう読書 感動あふれる
学びのまち

さ さわやかな汗 心と体きたえる
健康なまち

ま まもろうきまり みんなでつく
る安全なまち